



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7226 URL http://www.kyokuto.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 吉田 豊 TEL 0798-66-1000
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	57,821	9.5	3,740	6.5	3,852	1.8	2,701	4.8
2019年3月期第2四半期	52,802	△1.6	3,511	△26.6	3,786	△24.2	2,578	△26.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,054百万円 (△20.2%) 2019年3月期第2四半期 2,574百万円 (△48.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	68.00	—
2019年3月期第2四半期	64.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	133,521	91,826	68.5
2019年3月期	138,878	90,857	64.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 91,421百万円 2019年3月期 90,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,500	2.8	7,800	△8.8	7,900	△10.4	5,500	△12.5	138.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を上記の通り修正いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）Trex Thairung Co., Ltd.

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	42,737,668株	2019年3月期	42,737,668株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,011,071株	2019年3月期	3,010,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	39,726,711株	2019年3月期2Q	39,727,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境や企業収益に支えられ堅調に推移したものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など不安定な海外情勢により、輸出や生産の一部には停滞感が見られました。

このような状況下、当社グループは新中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の初年度として、社会的価値の深化と企業品質の向上を図るべく、諸施策を進めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して、売上高は5,019百万円（9.5%）増加して57,821百万円となりました。営業利益は229百万円（6.5%）増加して3,740百万円、経常利益は66百万円

（1.8%）増加して3,852百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は123百万円（4.8%）増加して2,701百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

①特装車事業

国内需要が引き続き底堅く推移する中、積極的な受注の確保に努めたほか、連結子会社である日本トレクスにおいて、今後需要が見込まれるスワップボデー車の強化のため新工場用地を取得するなど、生産の合理化及び効率化に向けた施策を行いました。また新製品として、5月に7トンリヤダンプトラックを改良したほか、6月には後部格納式テールゲートリフタ「パワーゲート® GⅡ1000 / GⅢ1000」をモデルチェンジするなど、重点取扱製品の商品力強化も図りました。

なおタイ王国において、当社特定子会社であったTrex Thairung Co., Ltd.（以下、TTR社）について、当社グループ保有のTTR社の全株式を7月30日付で現地合弁先であったTHAI RUNG UNION CAR PUBLIC CO., LTD.に譲渡いたしました。今後当社グループは技術支援を行うことによりタイビジネスの継続を図るほか、今回の事業再編に伴い経営資源をより投資効果の高い分野に投入してまいります。

これらの結果、売上高は4,415百万円（9.8%）増加して49,387百万円となりました。営業利益は182百万円（7.0%）増加して2,810百万円となりました。

②環境事業

プラント建設では、宮城県の大崎地域広域行政事務組合様より受注しておりましたリサイクルセンターが2019年6月に完成しました。

バイオガスプラント事業においては、新規受注活動を進めた結果、DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様より、岡山市においてバイオマス発電施設建設工事を受注しました。

その他、メンテナンス・運転受託などのストックビジネスにも引き続き注力しました。

これらの結果、売上高は479百万円（10.2%）増加して5,166百万円となりました。営業利益は58百万円（8.6%）増加して744百万円となりました。

③不動産賃貸等事業

立体駐車装置は新規物件の受注活動と併せ、リニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスの受注確保に努めました。コインパーキングは引き続き採算性を重視した事業地展開を図り、京都府木津川市様の市営駐車場6か所の運営を新たに受注しました。

これらの結果、売上高は109百万円（3.2%）増加して3,540百万円となりました。営業利益は5百万円（1.0%）増加して594百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は5,356百万円(3.9%)減少して133,521百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少等により4,070百万円(5.0%)減少して76,687百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の売却等により1,286百万円(2.2%)減少して56,834百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は支払手形及び買掛金の減少等により5,684百万円(13.9%)減少して35,187百万円、固定負債は長期借入金の減少等により641百万円(9.0%)減少して6,507百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により969百万円(1.1%)増加して91,826百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は68.5%(前連結会計年度末64.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、現時点で入手可能な情報や予測等を勘案し、2019年5月10日に公表いたしました業績予想及び配当予想を以下の通り修正いたします。

配当予想の詳細につきましては、本日(2019年11月7日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」もご参照ください。

2020年3月期通期連結業績予想値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2019年5月10日発表)	百万円 116,000	百万円 7,400	百万円 7,500	百万円 5,200	円 銭 130.89
今回修正予想(B)	117,500	7,800	7,900	5,500	138.45
増減額(B-A)	1,500	400	400	300	
増減率(%)	1.3	5.4	5.3	5.8	
前期実績 (2019年3月期)	114,301	8,554	8,817	6,284	158.20

2020年3月期通期配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2019年5月10日発表)	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 38.00
今回修正予想	—	20.00	—	20.00	40.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2019年3月期)	—	19.00	—	19.00	38.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,583	8,316
受取手形及び売掛金	43,616	38,686
有価証券	9,133	9,800
商品及び製品	1,198	1,270
仕掛品	5,560	6,124
原材料及び貯蔵品	9,177	9,733
前払費用	510	563
その他	1,045	2,249
貸倒引当金	△67	△57
流動資産合計	80,757	76,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,479	11,068
機械装置及び運搬具（純額）	5,567	5,487
土地	20,564	20,354
建設仮勘定	166	914
その他（純額）	1,395	1,105
有形固定資産合計	39,174	38,931
無形固定資産		
その他	706	821
無形固定資産合計	706	821
投資その他の資産		
投資有価証券	15,990	14,616
長期前払費用	259	220
繰延税金資産	271	270
その他	2,427	2,683
貸倒引当金	△710	△709
投資その他の資産合計	18,239	17,081
固定資産合計	58,120	56,834
資産合計	138,878	133,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,373	15,539
電子記録債務	10,225	9,454
短期借入金	2,938	1,434
1年内返済予定の長期借入金	600	637
未払法人税等	2,058	1,042
未払消費税等	1,100	637
未払費用	4,319	4,207
引当金	1,187	1,161
その他	1,067	1,073
流動負債合計	40,871	35,187
固定負債		
社債	—	50
長期借入金	600	373
長期預り保証金	2,090	1,977
退職給付に係る負債	780	659
引当金	140	151
繰延税金負債	2,742	2,594
その他	795	700
固定負債合計	7,149	6,507
負債合計	48,020	41,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,679
利益剰余金	64,279	66,155
自己株式	△2,152	△2,152
株主資本合計	85,745	87,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,878	4,211
為替換算調整勘定	△3	45
退職給付に係る調整累計額	△462	△416
その他の包括利益累計額合計	4,412	3,840
非支配株主持分	699	404
純資産合計	90,857	91,826
負債純資産合計	138,878	133,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	52,802	57,821
売上原価	42,399	46,888
売上総利益	10,403	10,933
販売費及び一般管理費	6,891	7,192
営業利益	3,511	3,740
営業外収益		
受取利息及び配当金	233	238
為替差益	127	—
雑収入	85	85
営業外収益合計	445	324
営業外費用		
支払利息	47	31
持分法による投資損失	89	96
為替差損	—	41
雑支出	34	42
営業外費用合計	171	212
経常利益	3,786	3,852
特別利益		
固定資産売却益	9	18
投資有価証券売却益	—	527
その他	0	0
特別利益合計	9	546
特別損失		
固定資産処分損	16	37
関係会社株式売却損	—	601
災害による損失	2	1
その他	—	2
特別損失合計	19	643
税金等調整前四半期純利益	3,776	3,755
法人税等	1,315	1,127
四半期純利益	2,461	2,628
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△117	△73
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,578	2,701

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,461	2,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	△667
為替換算調整勘定	△149	23
退職給付に係る調整額	34	46
持分法適用会社に対する持分相当額	12	22
その他の包括利益合計	113	△573
四半期包括利益	2,574	2,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,734	2,123
非支配株主に係る四半期包括利益	△159	△69

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,776	3,755
減価償却費	1,294	1,297
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△35	△74
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△10
その他の引当金の増減額 (△は減少)	223	△6
受取利息及び受取配当金	△233	△238
支払利息	47	31
その他の営業外損益 (△は益)	△81	36
持分法による投資損益 (△は益)	89	96
有価証券売却損益 (△は益)	—	73
固定資産売却損益 (△は益)	△9	△18
固定資産処分損益 (△は益)	14	22
売上債権の増減額 (△は増加)	2,340	5,159
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,250	△1,048
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,783	△3,354
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△465	△446
その他	△85	△2,042
小計	2,840	3,232
利息及び配当金の受取額	241	247
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△1,783	△1,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,296	1,525
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△972	△2,168
固定資産の売却による収入	14	264
投資有価証券の取得による支出	△342	△308
投資有価証券の売却による収入	—	901
子会社株式の取得による支出	△375	—
有価証券の償還による収入	—	633
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	—	△691
短期貸付金の増減額 (△は増加)	8	—
長期貸付けによる支出	△142	△270
長期貸付金の回収による収入	7	9
その他	5	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,796	△1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	293	136
長期借入金の返済による支出	△672	△318
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△52	△37
配当金の支払額	△714	△753
連結の範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出	△120	△137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,266	△1,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,763	△1,225
現金及び現金同等物の期首残高	21,357	19,083
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	258
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,593	18,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったTrex Thairung Co., Ltd.の株式を全て売却したことにより、Trex Thairung Co., Ltd.は当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第2四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	44,963	4,685	3,154	52,802	—	52,802
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	0	275	285	△285	—
計	44,971	4,686	3,430	53,088	△285	52,802
セグメント利益	2,627	685	588	3,902	△390	3,511

(注) 1 セグメント利益の調整額△390百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△393百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	49,381	5,165	3,275	57,821	—	57,821
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	0	264	271	△271	—
計	49,387	5,166	3,540	58,093	△271	57,821
セグメント利益	2,810	744	594	4,149	△408	3,740

(注) 1 セグメント利益の調整額△408百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△413百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。